

(別紙4(2))

事業所名 : 与那原在宅ケアセンター グループホーム かなち

作成日 : 令和4年2月17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (16)	災害時の備蓄が飲料水と食料品のみである。リスト化されておらず「見える化」が不十分である。また、日常生活を想定した品目等の準備も不十分であり、検討が必要である。	災害時において、入居者や職員、また近くの住人が避難してくることを想定した備蓄の準備等を検討する。また備蓄品リストの整備を行い、飲料水や食料品の賞味期限チェックも併せて行っていく。	・入居者や職員、避難者分の飲料水や食料品の備蓄のリスト作成(賞味期限チェック日も決める)。 ・日常生活を想定した備蓄品品目のリストを作成、整備し災害時に備える。	6 か月
2	49 (22)	感染症による影響もあり、恒例のイベント等へ出かける事が無くなってしまった。これまでも外出する機会が少なく、家族と病院受診等で外出しても戻ってくると疲れた様子が見られ、「外へ行きたい」と言う声は殆ど聞かれない状況がある。	少しでも「外へ出てみよう」と言う気持ちを持ってもらえるよう天気の良い日には周辺の散歩を継続する。また利用者の方が疲れない程度での外出の機会を設け、外へ出る事に慣れて行ってもらえるようにしたい。	・体調や天気の状況を確認しながら周辺の散歩を継続する。 ・短時間での外出を定期的に行い、外出する事に慣れてもらうようにしたい。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。